

大浜公園アカゲザル飼育施設

Date：2010～2011年

Location：大阪府堺市堺区大浜北町 大浜公園内

Client：堺市役所建設局 公園緑地部大浜公園事務所

Types：基本計画・基本設計・実施計画・施工管理



上2枚 旧飼育施設
下8枚 新飼育施設



大浜公園アカゲザル飼育施設の設計を行いました。旧アカゲザルの飼育施設は、かつて当時の最高水準と評された堺水族館（明治36年開設、昭和36年閉鎖）からの施設で、平成21年まで親しまれてきました。

既存の施設の老朽化が進むこと、特定外来生物に指定されたアカゲザルの逃亡の可能性があること、一部の来園者による餌やり起因し、肥満化した個体が「メタボザル」としてマスコミに取り上げられたこと、狭小で単調な空間での生活を強いられたアカゲザルが集団で弱い個体を襲撃する、等の理由から新しい施設が整備されることになりました。

新しい施設の整備では、夜間閉園する動物園とは異なり、24時間人が近寄れる公園施設として、動物と人の安全の確保、逃亡の危険性を確実に回避する機能、健康状態が維持できる施設づくりが求められました。新しい施設では、アカゲザルの頭数に相応しい活動領域を確保すること、風通しや日照や日陰の確保に配慮すること、水浴びを好む習性に配慮しプールを設置すること等、動物にとっての快適で多様な空間を整備するとともに、観察する来園者には、動物と人の接触を避けながら近くで観察ができる構成とする、逃亡の危険性を限りなくゼロに近づける施設づくり等に配慮しました。

平成21年6月に新しい施設がオープンしました。マスコミからは「減量の館」という愛称を頂きましたが、餌の改善や適度の運動により、肥満個体の減量に成功するとともに、集団暴行も見られなくなりました。健康状態が良くなったことから、毎日のように通うアカゲザルファンの住民も増え、大浜公園の新名所となっています。

